

研究船要目

学術研究船白鳳丸

1. 要目

全長	100.0m	主機関	1,900PS×4
幅(型)	16.2m	推進用電動機	460KW×2
深さ(型)	8.9m	推進用発電機	1,085KW×2
(推進システム ディーゼル直結・電気推進切替方式)			
総トン数	3,991 トン		
航海速度	16 ノット	軸系 2軸・2舵	可変ピッチプロペラ
航続距離	12,000 マイル	主発電機	715KW×3
研究員	35 名	精密電源装置	AC100V 80KVA× 60Hz×2
燃料油タンク	1,048 m ³		AC120V 6KVA×400Hz×2
飲料水タンク	382 m ³	バウスラスタースター推力	4.2t×2
蒸留水タンク	106 m ³	スタンスラスタースター推力	6.8t×1

※航海計画時は速度 15 ノットで計算してください。

2. 最大乗船研究者数 35 名

3. 研究設備及び観測機器

(1) 研究室

No.1	ドライラボ	No.2	R I ラボ セミドライラボ
No.3	ドライラボ	No.4	クリーンラボ
No.5	セミドライラボ	No.6	セミドライラボ
No.7	ウェットラボ	No.8	—
No.9	重力計ラボ	No.10	低温ラボ
	リサーチルーム		
	その他		冷凍庫 (-20°C)、サンプル庫(冷蔵~-20°C)、薬品庫、採水器室、暗室

(2) 研究室電源

一般電源	AC100V, 220V 60Hz
精密電源	AC100V, 60Hz

(3) 観測用ウインチ (ワイヤー長は平成 29 年 6 月現在)

No.1	14.00 mm φ × 14,920m	大型測器
No.2	8.18 mm φ × 7,521m	鋼製アーマードケーブル CTD・VMPS 等
No.3	6.40 mm φ × 11,050m	チタンワイヤー 採水用
No.4	9.27 mm φ × 7,990m	中・大型測器
No.5	ロープウインチ (14 mm φ × 6,000m 使用可能)	係留用
No.8	3.30 mm φ × 1,187m	ステンレスワイヤー 小型測器

(4) 観測補助設備

起倒式ガントリー（ホイスト2台付属）
伸縮ビーム（最大動荷重11tアウトリーチ2.0m）、
デッキクレーン（定格荷重3t荷役半径 最小3.0m 最大21m）、
ダビッド及びブーム（3基）
作業艇（4.41m×1.95m×0.75m・全長4.90m）

(5) 研究用観測機器等

* 船舶搭載機器

マルチナロービーム海底地形連続測定装置
（※能力を十分に発揮できていない状況です。）
深海用精密音響測深機（PDR）
人工衛星（NOAA）データ受信装置
気象観測装置
地層探査装置（SBP）
生物資源音響探査装置（※スキヤニングソナーは使用不可）
エアガンコンプレッサー
ドップラー流速計（ADCP）
船上重力計
液体シンチレーションカウンター
音響測位装置
超純水製造装置 他

* 共同利用観測機器（別紙参照）

カテゴリーⅡの観測機器の利用については各管理分野の了解が必要です。
状況によっては利用できない可能性もあることをご了承ください。

* 航海計器・その他

航海用ジャイロコンパス、オートパイロット、電磁ログ、音波ログ、レーダー、
衝突予防装置、航法・観測データロギング装置、方向探知器、航法制御装置、
気象警報自動送受信装置、ジョイスティックコントロールシステム、GPS、
海事衛星通信装置、気象用ファクシミリ、高速ファクシミリ、船内ネットワーク、
電子メール 他